

第2回会津美里町 投票区再編検討委員会

R8.2.26

再編を検討する投票所の施設環境について
投票所を再編する場合に講ずるべき支援策の検討について

再編を検討する投票所の施設環境について

別紙 投票所施設環境比較表(A3) 参照

【比較表の結果】

▼公共施設系

役場庁舎(高田第1・本郷第1・新屋敷)は、総合評価8
(旧公共施設・小学校等は、総合評価5～7台)

▼集会所系

集会所の多くは、総合評価2～4台

投票所施設環境の二極化がはっきりしている状況

再編を検討する投票所の施設環境について

集会所系、公共施設系の投票所施設環境二極化を表にまとめると

施設	集会所系	公共施設系
バリアフリー	×	○
冷暖房	△	○
駐車場	△	○
ネット回線	×	○
選挙人収容	×	○
天候の影響	○(雪の影響は大きく受ける)	
期日前・当日同運用	×	○

再編を検討する投票所の施設環境については、
公共施設系が良好なことが分かった

再編を検討する投票所の施設環境について

施設環境面以外でも集会所系と公共施設系で比較した場合

施設	集会所系	公共施設系
施設環境	△	◎
距離・移動負担	◎	△
将来持続性	△	○
運営体制(人員)	△	○
災害・緊急時対応	△	○

公共施設系では、距離・移動負担に課題がある

投票所を再編する場合に講ずるべき 支援策の検討について

第1回資料抜粋

懸念事項解消への他自治体の取組み

①投票移動支援(事例:栃木県大田原市)

- ・ 市営バス及びデマンド交通利用料免除による投票移動支援
- ・ 身体に障害のある方等へ無料タクシーによる投票移動支援
- ・ 無料巡回バスによる投票移動支援

②移動期日前投票所(事例:柳津町)

- ・ 決まった日時に、廃止になった投票所箇所へ車両で移動し、車外で受付名簿対照、車内で投票を実施



当町では.....



※写真:総務省 移動期日前投票所の取組事例集から引用

投票機会を確保する「移動の足」美里あいあいタクシーの活用

現状と課題と背景

◆投票所の再編による影響

- ・統廃合により投票所までの距離が増加
- ・「歩いて行けない」「家族の送迎が頼めない」層の投票棄権リスク

◆目指すべきゴール

- ・「移動の壁」を解消し
投票機会の公平性確保
と**投票率の維持・向上**
- ・高齢者や交通弱者が自立して投票に行ける環境整備



活用メリット

◆「美里あいあいタクシー」が最適な理由

- ・ドア・ツー・ドアで自宅玄関から投票所入口まで行ける
- ・安価な運賃
利用券使用で片道500円
- ・介助者も一緒に乗車できる
- ・既存の制度を有効活用できる

具体的な使用イメージ

◆期日前・当日投票での活用

- ・平日・土曜日の8:00から18:30まで運行(日曜日は臨時運行可)
- ・混雑の少ない平日の期日前投票に最適
- ・自分の都合に合わせて利用できる
- ・1週間前から予約可能
- ・選挙用の臨時運行可
- ・入場券・投票済証を提示し無料で利用可能



活用により期待される効果

- ◆投票所の遠隔化を「美里あいあいタクシー」の利用促進でカバーする
- ◆外出した機会に投票も済ませる
- ◆「美里あいあいタクシー」の利用促進につながる

投票機会を確保する「移動の足」介護タクシーの活用

現状と課題と背景

◆投票所の再編による影響

- ・統廃合により投票所までの距離が増加
- ・「介助者がいないと投票にいけない」層の投票棄権リスク

◆目指すべきゴール

- ・「投票所に行けない」を解消し投票機会の公平性確保と投票率の向上
- ・美里あいあいタクシーを利用できない方や介助を必要とする方が投票に行ける環境整備



活用メリット

◆「介護タクシー」が最適な理由

- ・ドア・ツー・ドアで自宅玄関から投票所入口まで行ける
- ・介助者(介護福祉士、ヘルパー)が付き添う
- ・家族が忙しいときにも安心して移動できる
- ・運賃は一般のタクシーと同様であるが、介助料や福祉用具は別途加算
- ・既存の制度を有効活用できる

具体的な使用イメージ

◆期日前・当日投票での活用

- ・平日・土日の8:00から18:00まで運行
- ・介助者が付き添うので安心
- ・自分の都合に合わせて利用できる
- ・事前予約が必要
- ・入場券・投票済証を提示し無料で利用可能



活用により期待される効果

- ◆投票意思はあるが身体の原因で投票所に行けない方の投票機会の公平性を確保
- ◆選挙制度(郵便投票)の隙間解消につながる
- ◆選挙をきっかけに介護タクシーを身近な移動手段となる

当町における 無料送迎車による投票移動支援

当日投票において、指定時間に公用車で
投票所から離れた地域の選挙人を送迎

実施投票区：東尾岐、尾岐

【実績】

R6.10 衆院選 1コース(東尾岐) 0名
2コース(尾岐) 3名

R7.7 参院選 1コース(東尾岐) 0名
2コース(尾岐) 2名

R8.2 衆院選 1コース(東尾岐) 0名
2コース(尾岐) 4名

回 覧

『選挙人無料送迎車を運行します』

令和8年2月8日(日)投票日の第51回衆議院議員総選挙において、投票所までの送迎車を運行しますので、ぜひご利用ください。

1. 運行日 令和8年2月8日(日)
2. 運行経路 出発時間 午前9時00分発

1コース	2コース
① 入桧和田 発	① 大室 発
② 桧和田	② 沼平
③ 中屋敷	
④ 荻荷平	
⑤ 結能	
⑥ 勝負沢	
投票所 着	投票所 着
東尾岐2区集会所	西尾甲部集会所

※時間が多少前後する場合がございますが、ご容赦願います。

(問：会津美里町選挙管理委員会事務局 ☎55-1122)

※実施投票区の自治区へ回覧板で周知

福島県柳津町における移動期日前投票所の取組

(概要) 平成30年に投票所の見直しがあり、廃止となった投票所13箇所を期日前移動投票所として巡回している。

○実施日時・実施場所

・大野地区集会所前	令和4年10月21日(木)	9:30~ 10:30
・軽井沢会館前	令和4年10月21日(木)	11:30~ 12:30
・石神会館前	令和4年10月21日(木)	13:30~ 15:00
・大峯地区集会所前	令和4年10月21日(木)	16:00~ 17:00
・八坂野地区集会所前	令和4年10月22日(金)	9:30~ 11:00
・野老沢会館前	令和4年10月22日(金)	12:30~ 14:30
・麻生公園前	令和4年10月22日(金)	15:30~ 17:00
・中野会館前	令和4年10月25日(月)	9:30~ 11:00
・湯八木沢会館前	令和4年10月25日(月)	14:30~ 14:00
・胄中会館前	令和4年10月25日(月)	15:00~ 16:30
・高森地区集会所前	令和4年10月26日(火)	10:00~ 11:00
・牧沢地区集会所前	令和4年10月26日(火)	12:30~ 14:00
・五置敷地区集会所前	令和4年10月26日(火)	15:00~ 16:30



○選挙人の投票環境に配慮した取組

移動期日前投票所では、車内で投票を行うため、1人ずつしか出来ない。
混雑を避けるため、車を持っている方など役場本庁や支所に設けている
期日前投票所で投票が可能な方は、出来るだけそちらを利用してもらい、
地区外へ出ることが困難な方の投票機会の確保を図っている。



○移動期日前投票所での投票者数(令和3年衆院選)

140名
(投票日当日有権者数:2,768人)※在外選挙人名簿登録者を除く。

美里あいあいタクシー等と移動投票所の比較

①基本的な役割の違い

観点	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
役割の本質	移動手段の確保、投票機会の確保	投票場所の提供
解決する課題	投票所が遠くなる、投票所まで行けない	投票所に行くこと自体が困難
投票行為	期日前・当日投票所	巡回先で投票
対象範囲	移動手段がない住民全般	特定地域の住民

②対象者別の役割分担

住民像	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
車を運転できない高齢者	◎全域送迎対応	○歩いていく必要がある
外出が困難な方	◎ドア・ツー・ドア対応	△天候影響あり
投票所まで距離がある方	○移動時間が増す	△自宅から何らかの方法で移動必要
要介護・外出が極めて困難	×あいあい、○介護	×バリアフリー化が必須
投票に心理的ハードルがある層	△投票することに不安	○外出・移動・雰囲気の心理的ハードルが下がる

美里あいあいタクシー等と移動投票所の比較

③地域特性と適合性

観点	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
町域の広さ	◎全域対応	△巡回制限あり
天候条件	◎影響なし	△受付、待機場所では影響あり
人員確保	◎事業者が対応	△投票管理者等の事務従事者の確保が課題
継続実施	◎既存制度を有効活用で恒常化が可能	△限定的

④行政運営上の役割

観点	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
選管の関与度	低(周知、調整など)	高(直営)
法令整備	無(既存制度活用)	新規整備
リスク管理	低(事業者が対応)	高(投票事故が発生する可能性)
費用負担	中(使用料負担)	高(専用車両、人件費、運行経費)
間接的負担	低(既存制度活用)	高(職員負担、リスク対応、継続性)

美里あいあいタクシー等と移動投票所の比較

⑤制度設計上の位置づけ

区分	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
制度の性格	基幹的支援策	補完的支援策
対象の範囲	◎全有権者	△条件にあう有権者
実効性	高(既存制度の活用)	低(限定的、条件付)
継続性	高(既存制度の活用)	低(条件つきのため)
再編での立ち位置・導入時期	基幹的土台・再編と同時導入	臨時的切り札・再編と同時導入

⑥有権者視点

観点	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
移動の自由度	◎自分の都合で利用できる	△時間・場所が指定される
生活動線との親和性	◎日常生活の延長で投票できる	△指定日時に都合を合わせる必要あり
天候・体調との関係	○状況を見て利用できる	△指定日時に行けないと機会を失う
心理的・行動的な負担	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の都合に合わせてられる ・特別扱いではないので安心できる ・心理的・行動的ハードルは低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日・その時間となり負担 ・条件が合わないと利用できない ・心理的・行動的ハードルは中・高

美里あいあいタクシー等と移動投票所の比較

⑦論点整理

区分	美里あいあいタクシー、介護タクシー (送迎型投票支援)	移動投票所 (巡回型投票支援)
基本的な位置づけ	恒常的・全域型の移動支援による投票機会の下支え	特定地域・特定層に対する補完的な投票機会の提供
実効性(到達可能人口・公平性)	町内全域対象・地域間の不公平が生じにくどこに住んでいても同じ支援が受けられる	巡回ルート・停車場所が限定され対象人口が偏る、未巡回地域との不公平感
実効性(心理的ハードルの低減)	自分の都合で行ける安心感	場所・日時が指定され心理的ハードルが高くなる
実効性(運用の安定・継続性)	既存制度を活用でき選挙ごとの追加負担が少なく、長期的・継続的な運用可能	車両・人員等その都度の選挙コスト準備負担が大きい
費用対効果	既存制度を活用でき低コストで投票者の	アピール効果は期待できるが投票率全体への寄与と費用対効果は限定的
総合評価	投票機会の確保策として全域・恒常型の「美里あいあいタクシー」が合理的	投票機会の確保策として限定的・補完的な手段としての位置づけ
	公平性◎、実効性○、持続性◎	公平性△、実効性△、持続性△